

ネコのトトニヤン

～プリンがたべたい～



さく・え やまぐち としひろ

とけいは もうすぐ おやつのはじかん。
トトニャンは きょうのおやつを たのしみに まっています。

「きょうのおやつは なにかなあ？」



いつもなかよしの ネコのチーチが きょうのおやつを
よういしてくれました。

「きょうのおやつは プリンだよ めしあがれ。」
「わーい！ ありがとう！ いただきます！」



トトニャンは プリンを たべはじめました。

「プリンおいしいなあ ぼく プリンだいすき。」

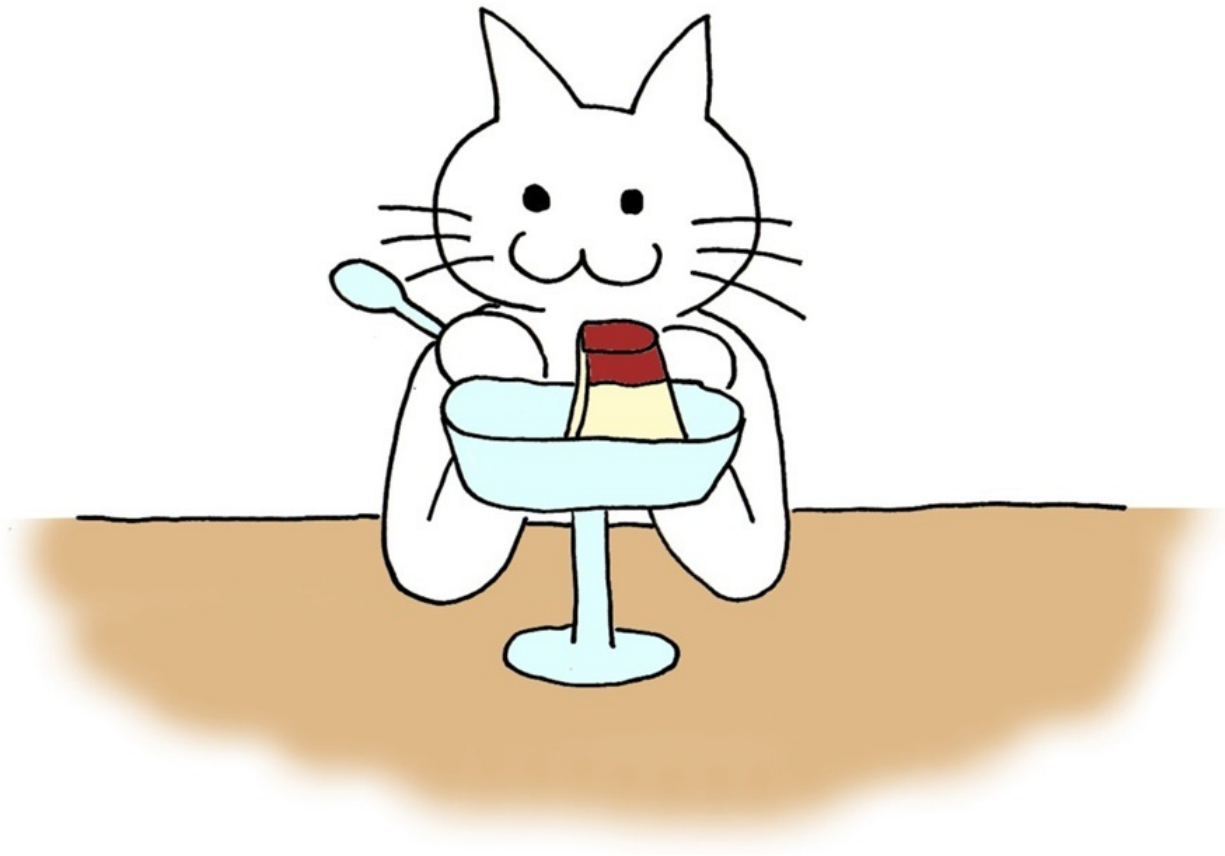
トトニャンは パクパクと プリンをいただきます。



はんぶんまで たべたとき トトニャンはかんがえました。

「のこりは あしたのおやつに のこしておこう。」

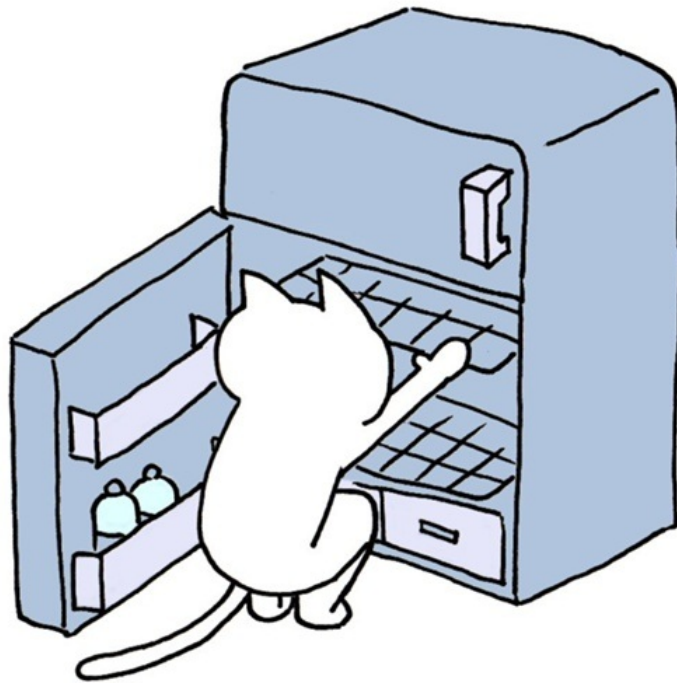
そうってトトニャンは のこりのプリンを
れいぞうこにしまいました。



つぎのひ トトニャンは れいぞうこに置いておいた
プリンをさがしました。

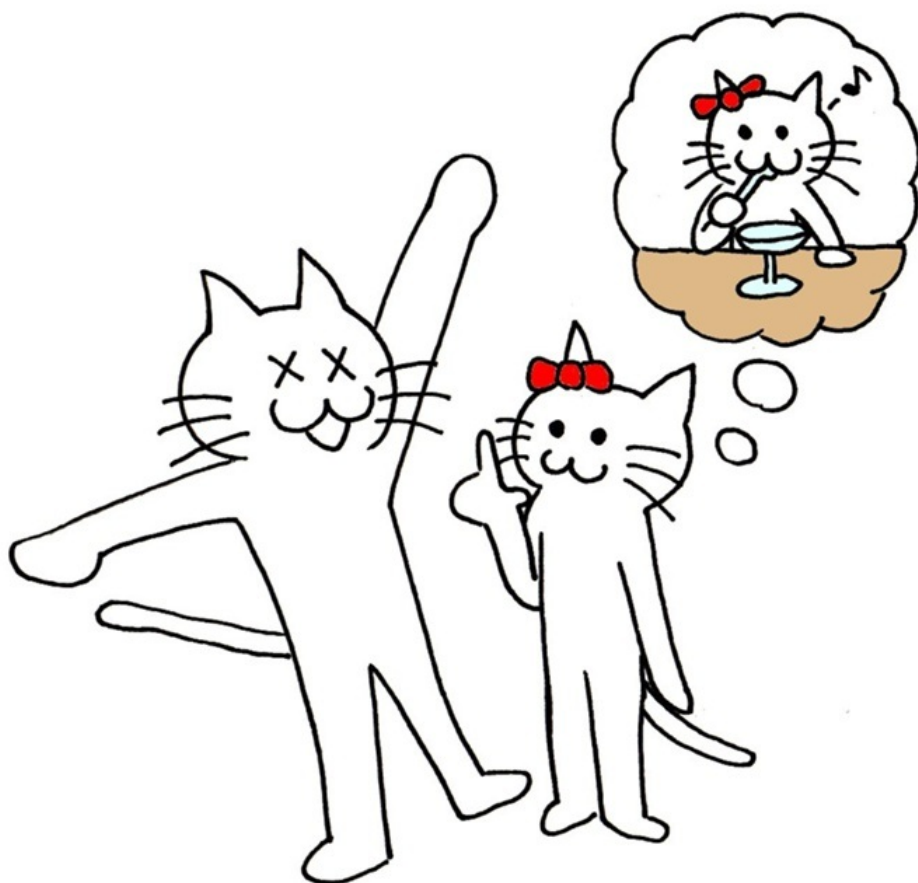
「あれれ？ プリンがないよ？ どこにいったのかな？」

きのう しまっておいた プリンがなくなってしまったのです。



こまったトトニヤンのところに チーチがやってきました。

「トトがのこしたプリンは わたしがたべちゃったよ。
もうたべないのかと おもったんだよ。」
「えー！ そんなあ！」

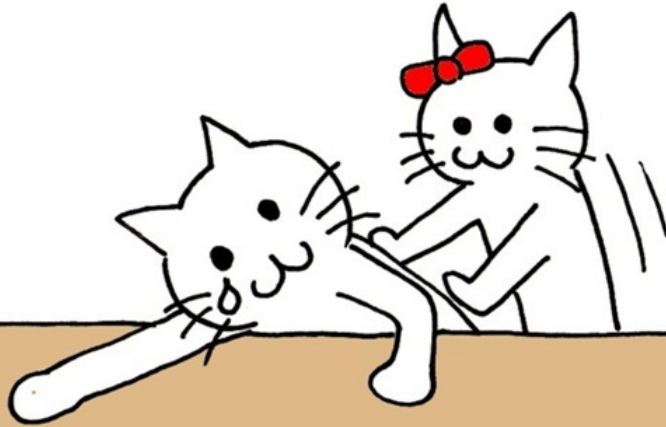


トトニャンはがっかりして ないてしまいました。

「あれは きょう たべるはずだったんだよ。」

シクシクないているトトニャンに
チーチがなぐさめてくれました。

「でもね トトニャン きょうのおやつは
もっといいものを よういしたよ。」



そういつて チーチはきょうのおやつをだしてくれました。

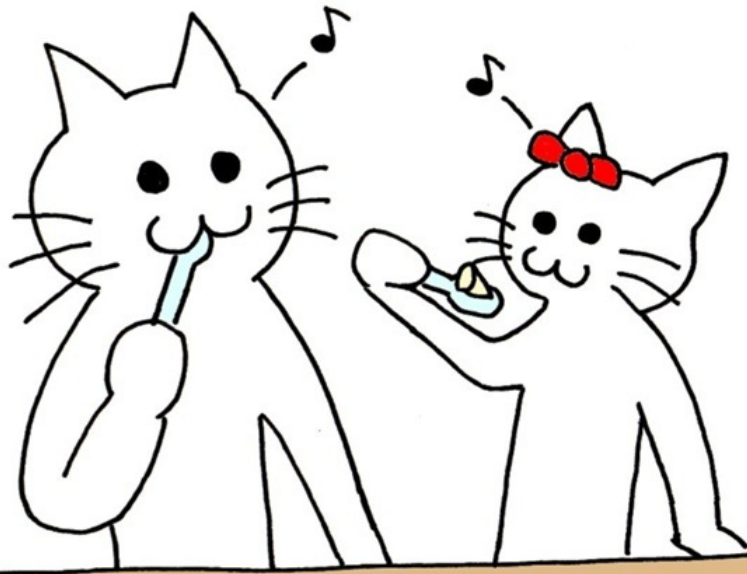
「ジャーン！ きょうのおやつは プリンのおおもりだよ！
ふたりにいっぱい たべようね！」

「わーい！ やったー！」



「やっぱりプリンは おいしいなあ。」
「ふたりでたべると もっとおいしいね。」

トトニャンとチーチは たくさんのプリンをたべました。
いっぱい食べて おなかいっぱい ごちそうさまでした。



おしまい

